

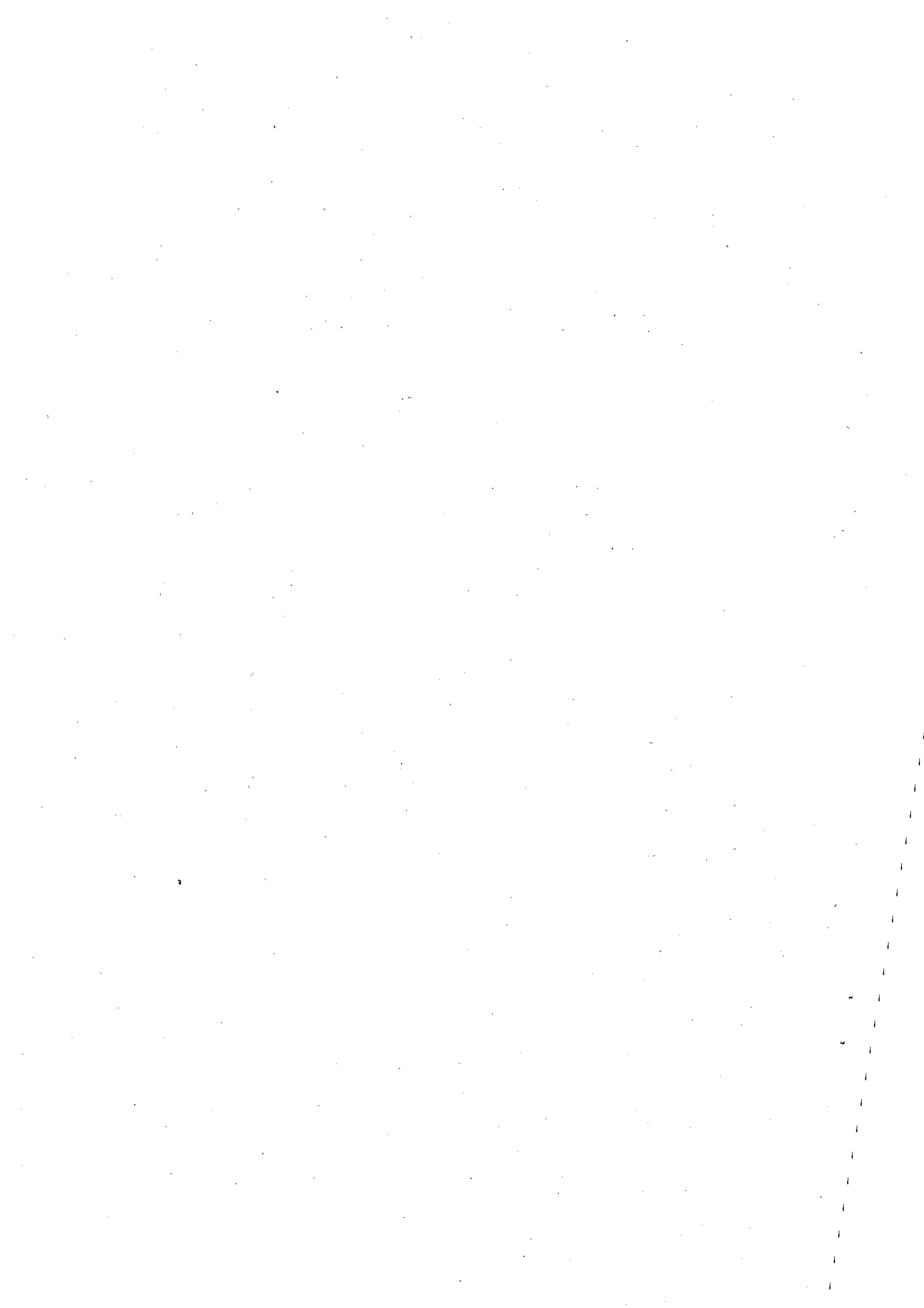
総務教育常任委員会資料

(平成26年10月9日)

〔件名〕

- ・平成26年度住民参加型市場公募地方債（「ゲゲゲのふるさと」とっとり県民債）の発行について 【財政課】・・・1
- ・平成26年度「事業棚卸し」の評価結果について 【業務効率推進課】・・・2
- ・「とっとり・おかやま新橋館」のオープニング等の概要について 【東京本部】・・・4
- ・平成26年度第2回商品クリニックについて 【関西本部】・・・6
- ・名古屋における情報発信等について 【名古屋代表部】・・・7
- ・「とっとりビジネスフォーラムin名古屋」の開催等について 【名古屋代表部】・・・9

総 務 部



平成26年度住民参加型市場公募地方債（「ゲゲゲのふるさと」とっとり県民債）の発行について

平成26年10月9日
財 政 課

平成26年度第1回住民参加型市場公募地方債（「ゲゲゲのふるさと」とっとり県民債）を下記のとおり発行します。今回は、クリーンエネルギー導入事業、防災関連事業等に充当するため、10億円を発行します。

1 発行目的

県民の皆様、に、使途を明確にして発行する県債を購入していただくことにより、県の事業や財政状況に関心を持っていただき、県政参加を推進するとともに、資金調達の多様化を図ることを目的とします。

2 発行総額

10億円（5年債）

3 充当対象事業

農業農村小水力発電施設導入事業、防災関連事業等（一般会計）
再生可能エネルギー発電施設導入促進事業（企業会計）

4 取扱金融機関

株式会社山陰合同銀行の県内53店舗

5 購入方法等

先着方式

募集期間10月21日（火）～10月27日（月）

【発行日】11月14日（金）（予定）

6 発行条件等

- | | |
|-------------|--|
| (1) 形 態 | 利付債 |
| (2) 償 還 方 法 | 満期一括方式 |
| (3) 償 還 期 間 | 5年 |
| (4) 利率・利回り | 0.16%（税引き後0.127496%） |
| (5) 年間利払回数 | 2回 |
| (6) 購入者の範囲 | 県内に在住又は勤務する個人（満20歳以上）、県内に拠点のある法人 |
| (7) 最低購入額 | 1万円 |
| (8) 購入上限額 | 1000万円 |
| (9) 公債の金額 | 1万円（本公債については社債、株式等の振替に関する法律（平成13年法律第75号）の規定の適用を受けるものとする） |
| (10) 発行価額 | 額面100円につき100円 |
| (11) そ の 他 | 本公債は振替地方債のため証券を発行しませんが、購入者の方には記念品として『「ゲゲゲのふるさと」とっとり県民債記念証』をお渡しします。 |

平成26年度「事業棚卸し」の評価結果について

平成26年10月9日
行財政改革局業務効率推進課

公開の場で、外部の視点により事業を点検し、予算の編成作業に活用することを目的として実施した平成26年度の事業棚卸しの評価結果について、10月3日にコーディネーターから知事に報告しました。評価結果への対応は、今後、来年度予算を編成する中で検討していきます。

記

1 事業棚卸しの実施結果

- (1) 対象事業数： 8事業（5テーマ）
- (2) 評価の方法
 - ・対象事業を3つの視点（必要性、効果性、最適な実施主体）により点検を実施
 - ・評価は「現状どおり（拡充含む）」「改善継続」「抜本的見直し（廃止含む）」の3区分で整理
 - ・事業の要・不要だけでなく、事業の見直しや改善の方向性を含めて議論を実施

2 評価結果

対象8事業の評価結果は、全て「改善継続」でした。（詳細は別紙参照）

事業の抜本的な見直しを要する評価はありませんでしたが、全体的に個々の取組に対する効果の検証が十分に出来ていないのではないかと指摘がありました。

3 平成26年度事業棚卸しの実施概要

- (1) 日 時： 平成26年8月30日（土）～31日（日）
- (2) 場 所： 県庁議会棟別館3階 第4委員会室（インターネットによる同時配信を実施）
- (3) 実施体制： コーディネーター1名及び評価者7名による8名体制

区 分	氏 名	所 属 ・ 職
コーディネーター	ほそ い よ ひ 彦 細 井 由 彦	鳥取大学 理事（企画・評価担当、広報担当）・副学長
評 価 者	お の だ 達 や 也 小 野 達 也	鳥取大学 地域学部地域政策学科 教授
	の づ 津 あ き こ 野 津 あきこ	鳥取短期大学 生活学科食物栄養専攻 教授
評 価 者	なか はら ひで き 樹 中 原 秀 樹	会社役員
	にし ぐら みつ き 貞 西 口 亨 貞	会社員
	ほそ き とみ お 雄 細 木 福 雄	無職
	むか い え み こ 向 井 恵美子	会社役員
	もう り れ お な 奈 毛 利 礼和奈	学生（鳥取大学）

(4) 経 過：

- 第1回評価者会議（5月30日）… 評価の実施方法等について申し合わせ
- 第2回評価者会議（7月 2日）… 評価対象事業の選定
- 第3回評価者会議（8月 6日）… 評価対象事業の事前調査（事業所管課による事業内容の説明）

平成26年度事業棚卸し 評価結果一覧

(別紙)

NO	所属名	事業名	事業費 (トータルコスト) 単位:千円	採点結果(3点満点)			評価結果			総括コメント
				必要性	効果性	実施主体	現状どおり (拡充否)	改善継続	抜本的見直し (廃止否)	
1	文化観光スポーツ局まんが王国官房	まんが王国発ソフトパワー事業	247,793 (286,488)	2.6	2.0	2.0			○	<p>これまで多くの事業を実施してきたが、客観的な成果の検証が不十分である。</p> <p>他県との差別化による観光振興や産業振興という意義は分かるが、今後はメリハリをつけた事業実施が必要である。</p> <p>適宜、軌道修正を行いながら進めていく必要があるが、行政だけで取り組むには判断が難しい分野であり、民間(プロデューサー的な役割)の力を活用するなどのやり方も含め、今後の事業の進め方の検討が必要である。</p>
2	福祉保健部長寿社会課	とっとり支え愛の取組	/	/	/	/	/	/	/	
		とっとり支え愛体制づくり事業	40,678 (46,095)	2.9	2.1	2.4			○	<p>地域で新たな取組を始めようとする場合に、使いやすい制度であり、ニーズがあることは認められるが、効果の検証はしっかりと行うべきである。</p> <p>人口減少・高齢化社会の中で、モデル的な取組のフォローを行い、その成果を広く周知することで、県民に対して、将来に向けた安心を提供できる環境を作っていくことが必要である。</p> <p>更に、それを全国へ発信していただきたい。</p>
		みんなで支え愛!災害時要支援者対策推進事業	16,300 (21,717)	2.6	2.3	1.9			○	<p>マップづくりを通して自治会活動の活性化に繋がる、分かりやすく良い取組ではあるが、市町村等が事業主体で実施すべきであり、しかるべきタイミングで市町村や社会福祉協議会へ実施主体を移行していくことが必要である。</p>
3	生活環境部循環型社会推進課	Let's4R実践拡大事業	52,927 (62,988)	2.3	1.7	2.1			○	<p>リサイクル(再資源化)の取組成果が、「地球環境問題」等で表現せざるを得ないのは理解できるが、実生活から遠く、数値として見え難い。日々、リサイクル等に取り組んでいる県民に対して、目に見えたり、実感できる効果をわかりやすく説明する工夫を行ってほしい。</p> <p>本事業での取組は、リサイクルの取組が目立つが、その他のR(リフューズ(断る)・リデュース(減らす)・リユース(再使用))の取組も進め、4R全体で県民に訴えていくことが重要である。</p>
4	地域振興部とっとり暮らし支援課	移住定住促進への取組	/	/	/	/	/	/	/	
		とっとり移住定住支援事業	10,427 (21,262)	2.7	1.6	2.0			○	<p>相当なコストをかけて様々な取組を実施しているが、その取組の成果として、どの程度移住者数が増加したのかなどの効果検証が不十分である。</p> <p>2000人という目標を達成した今、この事業の目的・目標を改めて整理し、事業効果を確認するべきである。</p>
		移住2000人達成事業	72,696 (79,661)							
鳥取県移住定住推進交付金	71,710 (80,997)	2.6	1.6	2.0			○	<p>そのためにも、市町村と連携して、移住の理由・移住に当たって利用した行政支援・定着状況などのデータを整理・分析し、今後の取組に繋げていくことが重要である。</p>		
5	未来づくり推進局県民課	広聴実施事業(パブリックコメント、県政参画電子アンケート、出前説明会、アンケートシステム整備)	11,953 (26,657)	2.0	1.7	2.3			○	<p>電子アンケートの分析手法等に課題があり、改善すべき。</p> <p>それぞれの広聴手法の特色を活かし、目的に応じた手法の選択や組み合わせができるように、全庁の広聴の取組を所管している県民課が各所属をサポートするほか、職員研修などで全体の底上げを行うことが必要である。</p> <p>広聴制度で声を上げる者に偏りが出てしまうことはやむを得ない面もあるが、県予算に限りがある中でも、より一層幅広い層からの意見を拾えるように、創意工夫を続けていただきたい。</p>

「とっとり・おかやま新橋館」のオープニング等の概要について

平成26年10月9日
東京本部
販路拡大・輸出促進課

9月28日にオープンした「とっとり・おかやま新橋館」のオープニング等の概要について、報告します。

1 オープニングイベント

- (1) 日時 平成26年9月28日(日)
- (2) 出席者 石破地方創生担当大臣、野田鳥取県議会議員、小田岡山県議会議員、女優 司葉子、料理研究家 有坂翔太
- (3) 概要 ・両県知事挨拶、石破地方創生担当大臣祝辞、香川・愛媛両県知事からのメッセージ披露
・オープニングイベント：両県の食材を使用した料理を試食しながら両県の魅力についてトークショーを展開
(出演者：両県知事、女優 司葉子、料理研究家 有坂翔太)
(試食料理：北条ワイン、岡山の地酒、白バラ牛乳、ジャージーアイス、下津井タコ、カニミソ)
- (4) その他 ・開店時の10時には、店頭に約450人の行列ができていた。(ピーク時は600人)
・梨ジャムと桃ジャムをセットにした先着記念品(300人分)は、開店40分後には全てなくなった。
- (5) 内見会・レセプション
オープン前日の9月27日(土)に内見会及びレセプションを開催した。
内見会では、国の鳥取県関係者や他県の東京事務所、首都圏バイヤーなど約350人が来店し、アンテナショップ内を視察していただくとともに、販売商品の説明を行った。
レセプションでは、両県選出国會議員、両県議会議員、市町村長、経済団体代表者など約150人が出席し、飲食店「もてなし家」の料理と両県の地酒等を楽しんでいただきながら、アンテナショップの機能紹介や両県の特産品のPRを行った。

2 オープン3日間の来店者数

9月28日(初日)	3,873人
29日	2,239人
30日	2,194人
計	8,306人

※参考「食のみやこ鳥取プラザ」(平成20年8月29日オープン)のオープン3日間 2,266人

※物販や飲食目的のみならず、鳥取県への旅行相談や就職相談、移住に関する情報収集のために来店される方が毎日のようにおられた。

3 目標来店者数と売上高目標

来店者数：50万人/年 売上高：5億円/年

4 来賓・お客様の声

- お客様 ・「広くて、明るくて、ゆったりとしていいお店。」(一番多かった声)
・「食のみやこ鳥取プラザのファンだったから、今日が待ち遠しかった。」
・「商品が増えて魅力的になった。」
・「岡山県の商品を買いに来たが、梨が美味しそうだったから、鳥取の梨を思わず買ってしまった。」
・「岡山の商品を買って来たが、つられて板わかめを買った。」
・「待ちに待ったショップがオープンして感動した。」
・「鳥取県と岡山県の商品が一緒に買って良かった。」
- 石破大臣 「地方が地方を変える。それを国が支援する時代を作りたい。とっとり・おかやま新橋館を鳥取と岡山と一緒にやるのがその起爆剤となるはず。国も応援したい。」
- 加藤内閣官房副長官 「センスがよいお店。30年前倉吉税務署に勤務していたので鳥取を応援したい。鳥取と岡山でどんどん連携して欲しい。」
- 湯崎広島県知事 「広くて、明るくて、デザインも良いお店。広島県のアンテナショップとも連携していこう。」

5 オープン初日の様子



(入店を待つお客様)



(1階 店内の様子)



(2階店内の様子)



(オープニングイベント：催事スペース)



(智頭町(きなこ・ヤーコン茶)と新庄村(お餅)の連携)



(1階両県プロモーションゾーン)

平成26年度第2回商品クリニックについて

平成26年10月9日
関西本部

関西圏での本県産品の販路開拓を進めるため、第2回展示商談会の前に、第2回商品クリニック(※)を実施します。

※関西での販売を視野に、県内事業者の商品に対して、個別に相談ブースを設け、商品企画・パッケージ・価格設定等の指導助言を実施。

1 平成26年度第2回商品クリニックの開催計画

- (1) 日 時 11月10日(月)
 (2) 場 所 県庁議会棟3階 第12会議室(鳥取市東町)
 (3) 対 象 者 関西での販路開拓を目指す県内事業者
 (ただし、関西に営業所がない者に限る。)
 (4) 対象商品 新規に商品改良の相談を希望する商品
 (5) 講 師 関西バイヤー 3名
 (地独) 鳥取県産業技術センター食品開発研究所 職員

2 今後のスケジュール(予定)

平成27年2月 第2回商談会(会場:関西本部)「平成27年のお歳暮に向けた商品提案」
 「平成27年春・夏向けの商品提案」

【参考】平成26年度の商品クリニック・定期展示商談会の開催状況

1 商品クリニックの開催状況(5月に県中部総合事務所で開催)

(1) 参加事業者 13事業者 延31個別クリニック(1個別クリニック 30分)

(2) 実施内容

分野	講師	概要
1 食品卸 (小売店)	関西バイヤー (G-7食品システム)	高級感の出るパッケージへの改善方法、内容量の改善、販促資材の添付、物流経費の検討等を助言。
2 百貨店・ スーパー	関西バイヤー (近鉄百貨店)	関西で求められる商品や商品キャッチコピーの注意点等を講義。 個別クリニックでは消費者が求めるアピールポイント、商品の見せ方等を助言。
3 食品卸 (ギフト等)	関西バイヤー (ジャパニーズクワイ :近鉄百貨店子会社)	ギフト商品としてのパッケージの大きさと内容量、価格とのバランス、消費者にわかりやすいキャッチコピー、宣伝販売などの販促方法を助言。
4 経営相談	鳥取県東部商工会産業 支援センター	経営相談に加え、最寄りの経営相談窓口、支援内容及び経営の参考となる県内の優良事例を紹介。
5 商品開発	(地独) 鳥取県産業技 術センター食品開発研 究所	食品としての安全性の確認や品質向上に必要な加工方法、有効な添加物等を助言。

(3) 商品改善例

○にんにく加工品

【助言】お試し用に小容量の商品が欲しい。

【改善状況】小容量タイプを製造。アンテナショップ(東京)へ提案、採用。

○洋生菓子

【助言】現在の価格設定では、物流コストを考慮するとほぼ取引は不可能。

サイズと価格設定を調整し、販売価格に対する納入価格の率を下げたい。

【改善状況】県外向けに、サイズを大きくし販売価格を高めに設定した商品を製造。
アンテナショップ(東京)へ提案、採用。

○和菓子

【助言】貼箱はコスト高。組立箱が良い。関西で販売する場合もう少し高くても大丈夫。

【改善状況】パッケージと販売価格を見直した商品を鳥取砂の美術館売店へ提案、採用。

2 第1回商談会(7月に関西本部で開催)

- (1) 開催概要 「平成27年のお中元に向けた商品提案」
 「平成26年秋・冬向けの商品提案」
 (2) 参加県内事業者 24社(新規出展:12社)
 (3) 参加関西バイヤー 74社(123名)

名古屋における情報発信等について

平成26年10月9日
名古屋代表部

1 鳥取県の魅力発信、観光誘客について

(1) 鳥取県の魅力を紹介するテレビ番組の放送

鳥取県の魅力発信及び誘客のため、鳥取県の秋冬の見所を平井知事、タレント等が紹介するテレビ番組を中京圏で放送します。

- ①テレビ局 中京テレビ放送
- ②放送日 10月10日(金)9時30分～
- ③番組 ・情報番組「4U(フォーユー)」内で目玉企画として鳥取県の魅力紹介(15分間程度)
・番組司会者 スピードワゴン、はんにゃ 他
- ④鳥取県ロケ出演 平井知事、はんにゃ・川島(お笑い芸人)、とっとり観光親善大使、トリピー等
- ⑤放送内容(予定)
 - ・鳥取県の魅力を調査に来たレポーター(はんにゃ・川島)が、平井知事の指令を受けながら県内各地を訪問し、地元プレゼンター(とっとり観光親善大使、日本海テレビアナウンサー等)とともに見所を紹介します。また10月から始まった「鳥取県ウェルカニキャンペーン」も紹介します。
 - ・ロケ地 鳥取砂丘、砂の美術館、倉吉白壁土蔵群、三朝温泉、大山 等

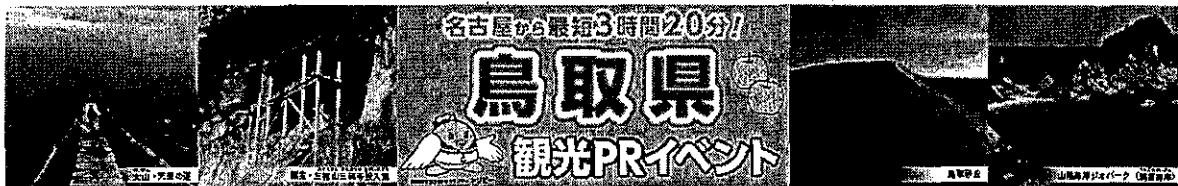


(番組イメージ)

(2) 名古屋秋の最大の祭り「第60回名古屋まつり」での鳥取県PR

「名古屋まつり」に参加し、鳥取県の秋旅の魅力や「鳥取県ウェルカニキャンペーン」をPRします。

- ①日程等 10月18日(土)～19日(日) オアシス21 銀河の広場(名古屋市東区)
- ②主催 名古屋まつり協進会(名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所)
- ③鳥取県出展概要 ・鳥取県ブースでミニ砂像の公開制作、鳥取県クイズ大会等
(予定) ・ステージで鳥取県の旅や魅力をPR
- ④県内参加団体 とっとり観光親善大使、砂の美術館砂像マイスター、トリピー
- ⑤来場者数 約63万人(市内5会場合計)



(鳥取県ブース看板)

(3) 名古屋市 東山動植物園「秋まつり」での鳥取県PR

全国有数の規模を誇る名古屋市の東山動植物園において開催される「秋まつり」に参加し、ファミリー層に鳥取県をPRします。

- ①日程等 : 11月2日(日)(雨天中止)
- ②会場 : 東山動植物園(名古屋市千種区)
- ③参加内容 : 正面入り口付近でトリピー等による県のPR、記念撮影、クイズ大会等(予定)



(春まつりの様子)

(4) マスコミ媒体での秋冬の鳥取旅PR

- ①掲載紙 中日ショッパー（発行：中日新聞社 中日新聞折り込み配布）
- ②掲載号 10月30日（木）発行号（全8段 69万部世帯配布）
- ③掲載内容（予定）・鳥取県の秋冬の魅力と温泉及び「鳥取県ウェルカニキャンペーン」PR
・注目のスポットとして琴浦町の「塩谷定好写真美術館」「鳴り石の浜」など紹介

2 「自然の葉箱」(カフェ&キッチン)での鳥取県フェア開催

健康や食材に関心ある方をターゲットに、レストラン「自然の葉箱」で、鳥取県産食材にこだわったメニューを提供する「鳥取県フェア」を開催します。

（自然の葉箱での鳥取県フェアは、第1回目を今年2月16日～3月15日に開催し、今回は2回目の開催です）。

- (1) 日程：10月26日（日）～11月22日（土）
- (2) 会場：「自然の葉箱」(カフェ&キッチン) (名古屋市中種区)

自然の葉箱：「自然の力でからだの中から美しく」をテーマに、「漢方相談薬局」、「カフェ&キッチン（レストラン）」、「ボディワークスタジオ（ヨガ教室など）」、「ボディケアルーム（アロマテラピー）」などを同一ビルで展開。

- (3) メニュー：鳥取県産食材を使ったメニューを提供
- (4) 産地視察：事前にシェフが9月末に鳥取県内の農産物ほ場や水産物市場を視察し、食材の特徴などを確認した上で、素材の良さを味わえるメニューを考案中。

3 鳥取県ゆかりの若者の情報交換会「鳥活！」の開催概要

鳥取県出身で中京圏で活動している若者による若者情報交換会「鳥活！」を初めて開催しました。

- (1) 開催趣旨：鳥取県を離れて活動する若者のネットワークの構築、さらに鳥取県への思いや新たな発想を活かして、鳥取県の応援団を目指します。 ※「鳥活！」…鳥取県を活性化する活動
- (2) 日程：10月3日（金） ルーセントタワー内
- (3) 参加メンバー：自動車会社・新聞社・通信社・機械メーカー・窯業メーカー等勤務の方、主婦、大学生など主に20～30歳代の方（17名参加）

(4) 開催概要

- ・当日は、郷土の先輩として株式会社パソナ 執行役員 東海営業本部長 田村 富美子 氏（倉吉市出身）をゲスト出席者に迎え、中京圏での経済活動や人材ビジネスの現状などについても情報交換しました。
- ・参加者からは、「鳥取県出身の同年代の知り合いがいなくて、このような会があればと思っていた。こんなにたくさんの県出身者と会えるは初めてで嬉しい。これからも開催を。」といった声が寄せられ、盛況でした。
- ・今後もネットワークを広げながら定期的に開催し、若者の斬新で柔軟な発想を活かし鳥取県の活性化や情報発信の取組に反映させていきます。



「とっとりビジネスフォーラム in 名古屋」の開催等について

平成26年10月 9日
名古屋代表部

1 「とっとりビジネスフォーラム in 名古屋」の開催について

中京圏の企業に対し、鳥取県及び鳥取県の推進する施策や企業立地環境をPRし、鳥取県内への企業進出及び県内企業等との連携を促進するために、昨年度に次ぎ2回目の「とっとりビジネスフォーラム in 名古屋」を開催します。

(1) 日程等 11月14日(金) 15:00~18:00 キャッスルプラザ(名古屋市中村区)

(2) プログラム(予定)

プレゼンテーション	「山陰鳥取で活力ある未来づくりを」鳥取県知事 平井伸治
鳥取県の立地環境紹介	商工労働部職員による立地環境、各種制度等の説明
基調講演	「人材ビジネスの現状について」 講師：株式会社パソナ 執行役員 東海営業本部長 田村 富美子 氏(倉吉市出身)
交流会	交流会

(3) 出席予定者 約120名

- ・中京圏企業 約 90名(鳥取県が接触している企業、鳥取県に進出している企業等)
- ・鳥取県内関係団体 約 30名(市町村、産業関係団体、大学等教育機関)

[昨年度の様子]

平井鳥取県知事から、鳥取県の「名古屋からの近さ」、「災害リスクの低さ」、「進出企業に対する助成制度」などを直接PRでき、参加された方から「鳥取県に対する理解が深まった」との声が多くありました。

このセミナーが、新たな企業訪問や誘致活動のきっかけとなりました。



知事プレゼンテーション



中京テレビ 山本社長様の講演

2 「メッセナゴヤ2014」への鳥取県企業出展

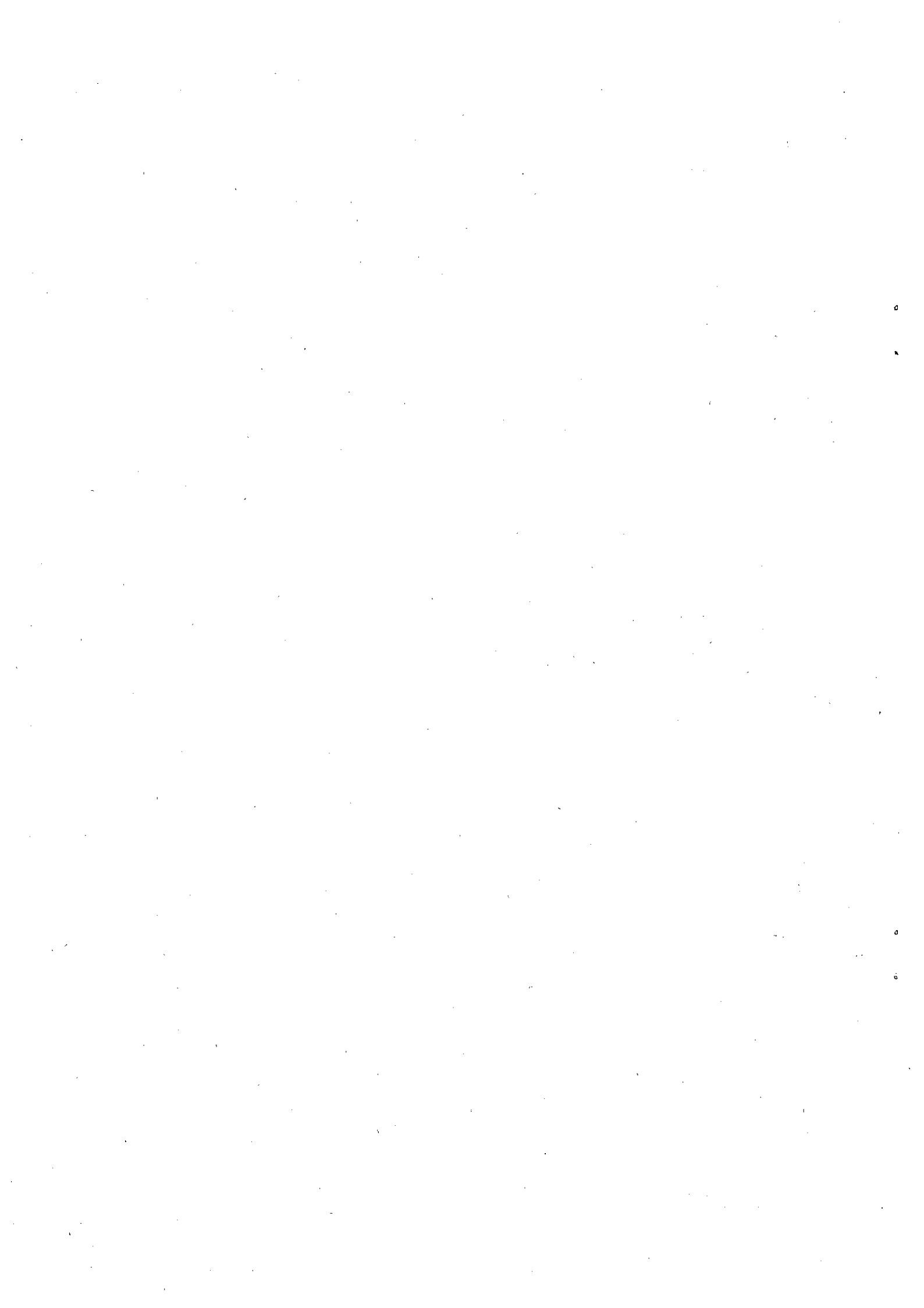
ポートメッセなごやを会場に、日本最大級の異業種交流展示会である「メッセナゴヤ2014」が開催され、鳥取県からも4企業が出展し、自社製品を全国にPRします。

(1) 「メッセナゴヤ2014」の概要

- ①日程等 11月5日(水)~8日(土) ポートメッセなごや(名古屋港金城ふ頭)
- ②主催 メッセナゴヤ実行委員会(愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所)
- ③出展企業数 888社・団体(昨年度実績 833社・団体)
- ④入場予定者数 65,000人(昨年度実績61,751人)
- ⑤テーマ 「交流が生み出す新たな飛躍~環境・安全・モノづくり」

(2) 鳥取県出展概要

- ①参加主体 公益財団法人鳥取県産業振興機構
- ②出展企業 4社(プレス加工メーカー、基板メーカー等)



ゲゲゲのふるさと

平成26年度 第1回鳥取県公募公債

とっとり県民債

とっとり県民債はクリーンエネルギー導入事業、防災関連事業等に活用します。



©水木プロダクション

先着順

(総額10億円に達し次第、終了します)

ご購入いただいた皆さまには、記念品として「ゲゲゲのふるさと」とっとり県民債記念証を進呈します。(記念証はお一人様1部とさせていただきます、後日お届けいたしている住所にお送りします。)

募集期間

平成26年

10月21日(火)~27日(月)

◎発行日/平成26年11月14日(金) ◎発行額/10億円(先着順)

公募地方債概要

■銘柄名	平成26年度第1回鳥取県公募公債 (愛称:「ゲゲゲのふるさと」とっとり県民債)
■購入できる方	県内にお住まい又はお勤めの満20歳以上の個人 県内に拠点のある法人
■利率・最終利回り (固定金利)	5年もの利付国債の利回り等を参考に10月上旬に決定します。なお、決定した利率は取扱金融機関の店頭、「鳥取県ホームページ」等で公表します。
■販売価格	額面100円につき100円00銭
■お申込み単位	お一人様額面1万円から額面1万円単位で、1,000万円までご購入いただけます。
■償還日	平成31年11月14日(期間5年)(銀行休業日の場合は前営業日)
■償還方法	償還日に一括して元本(額面金額)が支払われます。
■償還価格	額面100円につき100円
■利払日	毎年5月、11月の14日(銀行休業日の場合は前営業日)
■募集方法	先着順(総額10億円に達し次第、終了します)



取扱金融機関

山陰合同銀行 (登録金融機関 中国財務局長(登金)第1号)

県内の支店及び出張所(鳥取営業部及び鳥取資産運用プラザ^(※)を含む。鳥取及び米子中小企業ローンセンターを除く)※鳥取資産運用プラザは午前10時に営業開始します。

お問い合わせ先 ※いずれも平日9:00~17:00

鳥取県財政課

☎0857-26-7045

山陰合同銀行カスタマーセンター ☎0120-315180

● みんなで創ろう「活力 あんしん 鳥取県」 ●

ゲゲゲのふるさと

とっとり県民債

とっとり県民債はクリーンエネルギー導入事業、防災関連事業等に活用します。

平成26年

募集
期間

10月21日(火)~27日(月)

・発行日/平成26年11月14日(金)

・発行額/10億円(先着順)

■お申し込みに必要な書類

- 取り扱い金融機関の預金通帳
- 印鑑(通帳の届出印)
- 本人確認書類(健康保険証、運転免許証など)

- マル優・特別マル優制度をご利用になる方は、確認資料をご用意します。
- お申し込みはご本人のみできます。代理の方のお申し込みはできません。

■お客様にご負担いただく諸費用

- 「とっとり県民債」をご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただけます。
- 利払時や償還時に手数料はかかりませんが、課税扱のお客様は、利子から税金が差し引かれます。
- 「とっとり県民債」の振替決済口座管理に伴う手数料はかかりません。

■ご購入にあたっての重要事項等

- 公募地方債は銀行の預金ではありませんので、預金保険の対象ではありません。また、取扱金融機関でご購入いただく公募地方債は、投資者保護基金の対象ではありません。
- お申し込み日から発行日までの期間については、利子がつきませんのでご了承ください。
- 「とっとり県民債」はペーパーレス化しており、証券の引出しはできません。
- 利子、償還金は、ご指定口座に自動的に入金されます。
- 法令に定められた条件を満たす個人のお客様の場合は、マル優・特別マル優制度をご利用いただけます。
- 取扱金融機関の販売額に限りがありますので、売り切れの場合はご容赦ください。

● 公募地方債は、地方公共団体が発行する債券で元本と利子の支払いを地方公共団体が行うため、安全性の高い債券です。ただし、発行者である地方公共団体の信用状況の悪化等により、投資元本を割り込む場合があります。また、元本や利子の支払いが滞ったり、支払不能が生じるリスクがあります。

● 公募地方債を償還日より前に換金する場合には、市場価格での売却となりますので、売却時の金利の状況によって、売却益や売却損が生じたり、投資元本を割り込む場合があります(市場価格は、基本的に市場の金利水準の変化に対応して変動し、金利が上昇する過程では、価格は下落(利回りは上昇)し、逆に金利低下の過程では、価格は上昇(利回りは低下)することになります)。

● 中途換金が可能ですが、市場環境の変化により流動性(換金性)が低くなることも考えられます。極端な場合には、金融機関が買い取りに応じられなくなる可能性もあります。

● 中途換金のお申し込みから資金をお受け取りになるまでは日数を要します。また、利払日及び償還日前には換金できない場合がありますのでご了承ください。

● 「とっとり県民債」は、いわゆるクーリングオフの対象にはなりません。したがって、約定が成立した場合取り消すことはできません。

※ご契約の際は取扱金融機関の契約締結前交付書面等をよくお読みください。

(取扱金融機関にお申し付けください。)

【取扱金融機関】

商号等:株式会社山陰合同銀行

(登録金融機関 中国財務局長(登金)第1号)

加入協会:日本証券業協会



©水木プロダクション

未来を創る県民債



太陽光発電施設導入促進事業

再生可能エネルギー導入に取り組む鳥取県

鳥取県では、再生可能エネルギーの導入拡大のため、太陽光や水力などの発電施設の建設を進めています。

この写真の太陽光発電施設は、平成25年度に県民債を活用して建設されました。

FAZ倉庫太陽光発電所
(境港市竹内団地)

平成26年度事業予定



平成26年度は、天神浄化センターほか3箇所に太陽光発電施設を建設する予定です。

4施設合わせた年間の発電量は、**一般家庭約1,600戸分**の消費電力に相当します。

26年度事業費：25億1,116万円
(うち県民債を1億円充当予定)

※事業費にかかる財源には、毎年の売電収入が充てられます。

県民債とは？

県民債とは、使い道を明らかにして、県民の皆さまを対象に県が発行する債券です。

今回の県民債で県民の皆さまからお預かりしたお金は、**クリーンエネルギー導入事業**や**防災関連事業**などに使われます。



鳥取県マスコットキャラクター トリピー

くらしを守る県民債

小規模砂防施設新設事業

防災対策に取り組む鳥取県

鳥取県では、土砂災害防止のため、県内に約6200箇所ある土砂災害危険箇所において、施設整備等のハード対策を進めています。溪流等には砂防えん堤などの砂防施設を建設することにより、土石流を食い止め、地域を土砂災害から守ります。

平成26年度事業予定



平成26年度は、倉吉市余戸谷町など24箇所で、砂防えん堤などの砂防施設を整備する予定です。

**26年度事業費：4億3150万円
(うち県民債を2億6500万円充当予定。)**

この写真は、倉吉市余戸谷町(県立自然公園内)で建設中の砂防えん堤の様子です。

ここでご紹介した以外にも、様々なクリーンエネルギー導入事業・防災関連事業に県民債が使われています。

発行：鳥取県総務部財政課
〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地
TEL:0857-26-7045 FAX:0857-26-8124



企業のオアシス 鳥取県へ

鳥取県の立地環境の

素晴らしさを
紹介します!!



とつとり ビジネスフォーラム

in 名古屋

平成26年11月14日(金) 午後3時開会

参加無料

進出企業へ
全国でも
トップクラスの
優遇助成制度!



地震等の
災害リスクが
少ない!

中京圏から
近い!

名古屋市から鳥取市まで
鉄道で3時間20分、
自動車で4時間30分!



北東
アジアへの
ゲートウェイ!

人とモノを運ぶ
空と海の定期
航路が充実。



霊峰・大山

食のみやこ
鳥取県



国宝・三徳山 三佛寺 投入堂



鳥取砂丘

大学・
関係機関との
連携による
人材育成

鳥取県は小さな県だからこそ、企業の皆様に
きめ細やかなサービスのご提供が可能です!

会場

キャッスルプラザ3階 孔雀の間

(名古屋市中村区名駅)

募集人員

120名 (事前登録制/企業の方対象)

主催

鳥取県

※裏面の参加申込書にご記入の上、お申込みください。

プログラム(一部抜粋)

プレゼンテーション

平井 伸治 (15:00~15:30)

「山陰鳥取で活力ある未来づくりを」

鳥取県知事

平井 伸治



基調講演

田村 富美子氏 (16:00~16:30)

「人材ビジネスの現状について」

株式会社ハソナ
執行役員
東海営業本部長

田村 富美子氏



※詳細は裏面をご覧ください

とっとりビジネスフォーラムプログラム

プレゼンテーション 平井 伸治 (15:00~15:30)

「山陰鳥取で活力ある未来づくりを」

鳥取県知事
平井 伸治



鳥取県の立地環境のご紹介 (15:30~15:45)

基調講演 田村 富美子氏 (16:00~16:30)

「人材ビジネスの現状について」

鳥取県出身。85年(昭60年)東京学芸大院修了。96年パソナ入社。10年執行役員。12年から現職。

株式会社パソナ
執行役員 東海営業本部長
田村 富美子氏



交流会

(16:40~18:00)



食のみやこ鳥取県の食材をお楽しみください。

鳥取県の魅力、すばらしさをこの機会にご理解いただき、貴社の輝かしい未来に向かって一緒に取り組めることを心から願っています。



会場案内



キャッスルプラザ

名古屋市中村区名駅4-3-25 TEL:052-582-2121
(名古屋駅より徒歩5分 ※ユニモール地下街11番出口すぐ)

とっとりビジネスフォーラム in 名古屋

参加申込書 FAX:052-262-5415

貴社名			
所在地		FAX番号	
電話番号			
メールアドレス			
ご出席者名	所属・役職名		
	お名前	交流会	ご出席 ・ ご欠席
	所属・役職名		
	お名前	交流会	ご出席 ・ ご欠席

お申し込み方法

上記の参加申込書に必要事項をご記入の上、事務局までFAXまたは必要事項を記載したメールをお送りください。なお、応募者多数の場合のみ抽選とさせていただきます。

事務局・お問い合わせ

〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4階 鳥取県 名古屋代表部
TEL:052-262-5411 FAX:052-262-5415 E-mail:nagoyajimusho@pref.tottori.jp

らち 拉致問題の早期解決を願う 国民のつどい 米子

～すべての拉致被害者の一刻も早い帰国実現を目指して～

入場無料
申込不要

とき

平成26年

10月28日(火)

13:30～15:30 (13:00 開場)

ところ

米子コンベンションセンター
国際会議室 (米子市末広町294)

内容

▶ 御家族の訴え



まつもと はじめ

松本 孟氏

1977年10月鳥取県
で拉致された松本京子
さんの兄

▶ 講演



「どうなる
日朝関係」

たけさだ ひでし

武貞 秀士氏

拓殖大学大学院特任教授

お問い合わせ先

鳥取県庁 人権局 人権・同和対策課

〒680-8570 鳥取市東町一丁目 220 番地

TEL : 0857-26-7590

FAX : 0857-26-8138

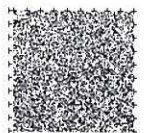
E-Mail : jinken@pref.tottori.jp

HP : <http://www.pref.tottori.lg.jp/rachi/>

主催：政府 拉致問題対策本部、鳥取県、米子市、日南町、
大山町、北朝鮮拉致問題早期解決促進鳥取県議会
議員連盟、北朝鮮に拉致された日本人を救出する
ための鳥取の会



※託児をご希望の場合は、
10/21(火)までに問合せ
先へお申し込みください。



らち 拉致問題について

北朝鮮当局による拉致問題の概要

1970年代から1980年代にかけて、多くの日本人が不自然な形で姿を消しましたが、これらの事件の多くには、北朝鮮当局による拉致(注)の疑いが持たれています。日本政府は、17名を拉致被害者として認定していますが、この他にも拉致された可能性を否定できないケースがあります。

2002年9月に北朝鮮が日本人拉致を初めて認め、同年10月に5人の拉致被害者が帰国しましたが、他の被害者については、未だ北朝鮮から安否に関する納得のいく説明はありません。

(注) 工作員の身分偽装や教育係としての利用のため強制的に連れ去ること

拉致問題の解決は国民的課題

北朝鮮当局による拉致は、誰でも突然連れ去られる可能性があった事件であり、拉致被害者や家族だけの問題ではなく、国民すべての課題と言えます。私たちも、自由と生命・身体の安全や家族の大切さを再確認すべきではないでしょうか。

また、日本政府は、この問題の解決に向けて取り組んでいます。解決を願う国民の声、大きな国際世論となり、米子市の松本京子さんをはじめとする拉致被害者の早期帰国実現への大きな支援となります。

県民の皆さんのご支援をお願いします。

鳥取県の拉致被害者等

▶ 政府認定拉致被害者

- ① **松本 京子さん** (米子市出身、当時29歳) ▶ 1977(昭和52)年10月21日、自宅近くの編み物教室に向かったまま行方不明



松本 京子さん

▶ 特定失踪者 ※特定失踪者問題調査会(民間団体)の公表資料による

- ② **古都 瑞子さん** (日南町出身、当時47歳) ▶ 1977(昭和52)年11月14日、普段着で出かけたまま行方不明。当時住んでいた米子市自宅には旅行の切符やポケベルも置いたまま。
- ③ **矢倉 富康さん** (米子市出身、当時36歳) ▶ 1988(昭和63)年8月2日、一人で出漁して行方不明。元精密工作機械製作のエンジニアであった。
- ④ **上田 英司さん** (伯耆町出身、当時20歳) ▶ 1969(昭和44)年11月4日、「京都に行ってくる」と東京の下宿の家主に言ったまま行方不明。荷物は紙袋一つ。

失踪位置図

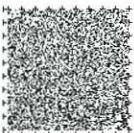


▶ 拉致の可能性を排除できない人 ※鳥取県警察本部の公表による

- ⑤ **木町 勇人さん** (大山町出身、当時20歳) ▶ 1975(昭和50)年8月25日、京都府宇治市の下宿先を出て以降、行方不明。
- ⑥ **松田 敏一さん** (大山町出身、当時25歳) ▶ 1992(平成4)年9月17日、千葉県船橋市の社員寮を出て以降、行方不明。

拉致問題の主な動き

- | | |
|--------------|--|
| 1970年代~80年代 | 多くの日本人が不自然な形で行方不明 |
| 2002年(平成14年) | 9月 第1回日朝首脳会談。北朝鮮は日本人の拉致をはじめて認めて謝罪 |
| | 10月 5名の拉致被害者が帰国 |
| 2003年(平成15年) | 1月 政府は拉致被害者支援法に基づく拉致被害者として15名を正式認定 |
| 2004年(平成16年) | 5月 第2回日朝首脳会談。拉致被害者の御家族5名が帰国 |
| 2006年(平成18年) | 11月 政府が、松本京子さんを拉致被害者として認定(17人目) |
| 2012年(平成24年) | 11月 日朝政府間協議(モンゴル・ウランバートル)。拉致問題について協議継続で一致 |
| 2014年(平成26年) | 3月 日朝政府間協議(中国・北京)。拉致問題について協議継続で一致 |
| | 5月 日朝政府間協議(スウェーデン・ストックホルム)。拉致被害者及び拉致の疑いが排除できない行方不明者の方々を含む全ての日本人に関する包括的かつ全面的調査の実施合意 |
| | 7月 北朝鮮の「特別調査委員会」による調査開始 |



何が進み、何が残ったか

～同和対策審議会答申50年の成果と課題

同和対策審議会答申から来年で50年となります。この間、同和問題解決に向けての環境改善の進展や進学率の向上など「何が進んだか」を振り返るとともに、「何が残ったのか」を挙げ、今後の取組の課題についてお話いただきます。

講師

西日本新聞企画委員

ば ば しゅう い ち ろ う

馬場 周一郎 さん



福岡県出身、1972年西日本新聞社(本社・福岡市)に新聞記者として入社。社会部記者として同和問題をはじめとする差別と人権問題の取材に取り組む。現在、西日本新聞企画委員、福岡県同和人権問題講師団講師。著書に『現代の部落差別』(解放出版社、共著)など。

とき

11月19日(水)

午後1時30分～3時

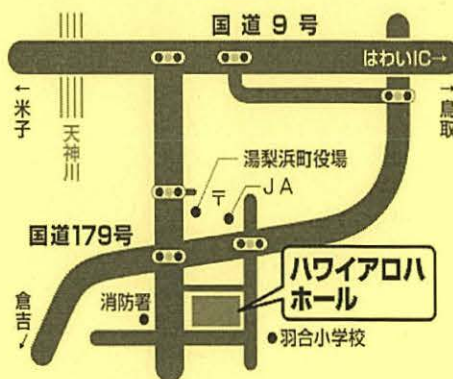
ところ

ハワイアロハホール

大ホール

(湯梨浜町はわい長瀬584)

入場無料・事前申込不要



お問合せ
連絡先

鳥取県 総務部 人権局 人権・同和対策課

電話0857-26-7073、FAX0857-26-8138、電子メール jinken@pref.tottori.jp

※手話通訳、要約筆記を行います。

※託児をご希望の方は、11月13日(木)までに上記連絡先までお申し込みください。

■主催…鳥取県、鳥取県同和対策協議会

■共催…倉吉市、湯梨浜町、倉吉市同和対策推進協議会、東伯郡同和対策協議会

